

第6期決算公告

令和3年6月23日

愛知県一宮市緑三丁目8番24号

名鉄西部交通西部株式会社

代表取締役社長 安藤 和人

貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	137,469,549	流動負債	195,579,604
現金及び預金	8,845,116	未払金	81,071,165
未収運賃	44,143,560	未払費用	51,841,675
未収入金	60,764,044	未払法人税等	481,000
短期貸付金	20,132,072	預り金	7,345,094
前払費用	2,780,098	賞与引当金	53,391,000
その他の流動資産	1,014,960	その他の流動負債	1,449,670
貸倒引当金	△ 210,301		
固定資産	32,224,270	固定負債	107,725,383
投資その他の資産	32,224,270	退職給付引当金	78,944,383
繰延税金資産	32,224,270	役員退職慰労引当金	2,371,000
		預り保証金	26,410,000
		負債計	303,304,987
		(純資産の部)	
		株主資本	△ 133,611,168
		資本金	10,000,000
		利益剰余金	△ 143,611,168
		利益準備金	2,500,000
		その他利益剰余金	△ 146,111,168
		繰越利益剰余金	△ 146,111,168
		純資産計	△ 133,611,168
資産合計	169,693,819	負債・純資産合計	169,693,819

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産

貯蔵品

最終仕入原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

2. 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額基準により計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職金支給規程に基づく期末自己都合要支給額を計上しております。

④ 役員退職慰労引当金

役員の退職金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額相当額を計上しております。

3. 消費税等の会計処理方法

税抜方式によっております。

当期純損益金額

当期純損失

135,069,779 円

第6期決算公告

令和3年6月23日

愛知県一宮市緑三丁目8番24号
名鉄西部交通北部株式会社
代表取締役社長 安藤 和人

貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	147,299,032	流 動 負 債	140,283,710
現金及び預金	8,623,138	未 払 金	39,852,467
未 収 運 賃	34,446,750	未 払 費 用	47,869,729
未 収 入 金	79,545,696	未 払 法 人 税 等	226,500
短 期 貸 付 金	20,673,314	預 り 金	7,096,594
前 払 費 用	2,911,458	賞 与 引 当 金	43,679,000
その他の流動資産	2,526,115	その他の流動負債	1,559,420
貸 倒 引 当 金	△ 1,427,439		
固 定 資 産	33,229,874	固 定 負 債	97,500,324
投資その他の資産	33,229,874	退 職 給 付 引 当 金	78,011,574
繰 延 税 金 資 産	33,229,874	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	838,750
		預 り 保 証 金	18,650,000
		負 債 計	237,784,034
		(純資産の部)	
		株 主 資 本	△ 57,255,128
		資 本 金	10,000,000
		利 益 剰 余 金	△ 67,255,128
		利 益 準 備 金	2,500,000
		その他利益剰余金	△ 69,755,128
		繰越利益剰余金	△ 69,755,128
		純資産 計	△ 57,255,128
資 産 合 計	180,528,906	負 債 ・ 純 資 産 合 計	180,528,906

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産

貯蔵品

最終仕入原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

2. 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額基準により計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職金支給規程に基づく期末自己都合要支給額を計上しております。

④ 役員退職慰労引当金

役員の退職金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額相当額を計上しております。

3. 消費税等の会計処理方法

税抜方式によっております。

当期純損益金額

当期純損失

106,555,631 円